



75年の時を経て

軍隊手帳がふるさとへ返還

2月2日、役場本庁において戦没者遺留品返還式が行われました。

このたびの遺留品返還は、川尻出身の故岡部時雄氏の軍隊手帳で、75年の時を経てふるさとに帰ってきました。

返還式では、県遺族連合会の田口昭益事務局長より町長へ、町長から遺族へ手渡されました。故岡部氏の弟の岡部昭治さんは、「家族にとっては本人が帰ってきたような気持ちだ。返還に尽力していただきたいみなさんにお礼を申し上げます」と語りました。

返還された軍隊手帳には銃創が残り、当時の激しい戦闘を物語るものでした。



▲故岡部氏の写真を抱く昭治さん（中央）

町の未来に向けて

みらい創造プランを答申

2月2日、役場本庁において町総合計画等の策定についての答申書が町長に提出されました。

当日は、町総合計画等審議会の田中洋平会長が訪れ、町長へ答申書を手渡しました。

答申書では、新たな総合計画等の名称を「三種町みらい創造プラン」とすることや町の将来像を「人・地域がつながり、元気を未来へつなぐまちづくり住み続けたいまちを創造」とし、その実現に向けて住民と事業者、行政が協働して挑戦と成長を続けることなどが要望されました。

田中会長は「審議会ではたくさん意見が出されました。新計画では、地域の変化に合わせた柔軟な対応をしてもらいたい」とし、田中町長は「毎年、各事業の検証を実施し、ニーズに合った町政にしたい」と語りました。



▲田中会長が答申を手渡しました

親子で読みに来て♪

おひさまひろばに新刊絵本

2月16日、子育て支援センターに新しい絵本コーナーができました。

これは、日本テレビ「中居正広のニュースな会」絵本寄贈プロジェクトに当選したもので、番組で制作された絵本「♪ピンポンパンポンプー」を含めた20冊が届きました。昔ながらの「ぶりとくぐら」や「はらぺこあおむし」、「おおきなかぶ」などや最近の「おしり探偵」や「ノラネコぐんだん」などがあります。

子育て支援センターは、森岳保育園内に設置され、毎日解放されています。支援センターでは「利用するきっかけになればいいなと思います。いつでも読めるので気軽にきてください」と呼びかけています。



▲楽しい絵本に触れてください♪

地域おこし協力隊 通信



地域おこし協力隊 湯沢 晃平

こんにちは！協力隊の湯沢です。先日、「秋田移住オンラインツアー」が開催され、能代市のみなさんと一緒に、各市町村のPRを行いました。

三種町は、「おもしろい人のいる町みたね」というタイトルで、町内で活躍されている方にスポットを当てて、魅力をお届けしました。松庵寺（鹿渡）副住職の渡邊英心さんや道の駅ことおかの河村純子駅長、ボクシング元世界王者の三浦隆司さんに出演いただき、町での暮らしについてお話ししてもらいました。また、コワーキングスペース「TANEHUB」からも中継を行い、取り組みの紹介などをしました。これを機に三種町に遊びに来てくれると嬉しいですね。

私も移住して3年が経とうとしています。魅力が、魅力的な方が多い町だなと改めて感じました。三種町に移住して、本当によかったです。



▲三種町はいい町ですよ♪